

Q1. 川辺川ダムの本體工事中止以降、球磨川ではどのような河川整備が進められてきたのでしょうか。

○ 球磨川では平成 20 年 9 月の熊本県知事による川辺川ダム計画の白紙撤回表明以降、川辺川ダム以外の治水対策の現実的な手法について検討するため、国、県、市町村から構成される「ダムによらない治水を検討する場」を平成 21 年に設置し「直ちに実施する対策」及び「追加して実施する対策（案）」を積み上げ、これまで事業を実施してきました。

○ 具体的には八代市萩原地区の堤防補強や中流部の築堤・宅地かさ上げ、人吉市中神地区の河道掘削、また、内水対策など、球磨川の治水安全度の向上に向けた河川整備を着実に進めてきたところです。

(下流部) 八代市萩原地区の堤防補強や高潮対策、堤防耐震・浸透対策、河床掘削

(中流部) 築堤・宅地かさ上げや河床掘削

(上流部) 球磨村渡地区の内水対策、導流堤の整備、河道掘削や築堤、堤防浸透対策

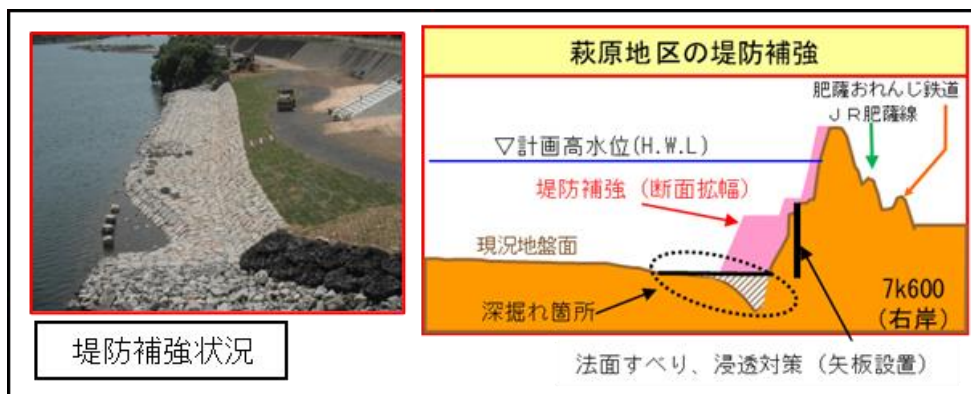


図 八代市萩原地区の堤防補強



図 人吉市中神地区掘削状況

- これまでの治水対策について確認したい方は[こちら](#)をご覧ください。

- なお、これまでの治水対策を含む流域の概要については、「令和3年度第1回球磨川水系学識者懇談会」において、（資料-2）【球磨川流域の概要について】にて示しており、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ[「令和3年度第1回 球磨川水系学識者懇談会」](#)に掲載しています。